

ナカノの

シルバー

No.135
2018.4.30

公益社団法人 中野区シルバー人材センター
編集：広報委員会

〒164-0011 中野区中央2-22-10-101
電話 3366-7971 FAX 3366-7998
ホームページ <http://www.nakano-sjc.or.jp>

〈まだやれる もう少しだけは 休み時〉

平成30年度シルバー人材センター安全就業標語 最優秀作品（中野区 竹内 恵子会員）



東京マラソン2018 ボランティア

目次

- ・平成30年度 事業計画 2～4
- ・平成30年度 収支予算 4
- ・平成29年度 家事援助就業会員必修研修会 5
- ・平成29年度 駐車場 接遇力向上研修 6～7
- ・安全管理委員会 8
- ・シルバー派遣第2弾！保育補助業務を開始！ 9
- ・シルバーリング 10～11
- ・平成30年度 会費とシルバー保険の天引きについて 12
- ・理事会開催状況 12
- ・3月事業実施状況、30年度配分金振込日 13
- ・クリーンキャンペーンの実施について 13
- ・あとがき 13
- ・東京マラソン2018 環境ボランティアに参加して 14

平成30年度 事業計画が承認 されました。

平成30年度事業計画は、平成30年2月22日開催の第13回理事会で承認されました。ここでは、センターにおける事業運営の基本方針である事業計画の概要について紹介します。計画本文では「Iはじめに」「II基本方針」「III事業計画について」「IV公益社団法人として」の4段構成になっています。

「Iはじめに」では、少子高齢化・人口減少が進む中、引き続き政府が推進する「一億総活躍プラン」では、いきがいを持って社会参加したい高齢者のために、地域の実情に応じた制度の見直しを検討するなどの動きが出ており、高齢者の就労促進が取り上げられているとされています。

センターでも、多様な就業機会を確保するために、保育補助人材事業での派遣事業の展開などを図り、受注の開拓を検討しているところです。

人生100年時代を迎えている今日、生きがい就労を目指すセンターの社会的役割はますます重要となっており、派遣事業の拡充を含め高齢者の就業ニーズに対応したシルバー事業をより一層充実・発展させていく必要があります。そのため、センターとしては、あらゆる機会を通じて就業開拓と会員募集を行うとともに、経営の効率化とシルバー事業の質の向上に努め、また、地域での社会奉仕活動としてのボランティア活動を積極的かつ継続的に行うとしています。

「II 基本方針」では、センターは、高齢者の豊富な知識と経験等を生かし、地域社会に貢献するためシルバー事業を積極的に実施し、また、多様な就業機会を確保するため、平成29年度より開始したシルバー派遣事業を拡充するとしています。

- 1 会員の就業についての普及、啓発活動を推進します。
- 2 会員に適した就業機会の確保・提供に努めます。
- 3 会員の就業についての知識・技能向上のための講習等を実施します。
- 4 安全就業についての啓発・指導を徹底し、安全就業対策の推進に取り組みます。
- 5 会員の入会促進を図るとともに、会員相互の連携を深め、社会奉仕活動を推進します。

6 多様な就業機会を確保するため、シルバー派遣事業を拡充します。

「III 事業計画について」では、会員の豊かな経験と知識を活かした、質の高いサービスの提供に努めるとともに、区民の暮らしに身近な就業を通じて地域社会に貢献できるように、「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき事業を実施するとしています。

契約目標は、6億8千万円。また、就業目標は、年間就業延実人員38,500人、年間延受託件数は、17,000件を見込んでいます。

1. 広報・宣伝活動の推進

(1) 会員数目標(年度末会員数) 1,650人

(2) 事業の広報・宣伝活動の推進

- ① 「シルバーなかの」及び「シルバー速報」の発行
 - ② ホームページのさらなる充実
 - ③ チラシ・リーフレットの配布
- 前年度に引き続き、中野区町会連合会の協力を得て、区内全地域の町会・自治会の回覧を通じ会員募集チラシの回覧を行います。

- ④ 区民を対象に、「ふすま張り」「パソコン」等の講習会を開催
- ⑤ 「シルバーまつり」の開催 平成30年10月9日(火)を予定
- ⑥ 「シテイテレビ中野」へのイベント情報の提供
- ⑦ 「中野にぎわいフェスタ」等のイベントへの参加
- ⑧ 東京マラソン祭り2019への参加
- ⑨ 区民来庁者の多い時期に、中野区役所1階ホールにてセンターPR活動を29年度に引き続き行い会員募集活動につなげます。
- ⑩ 「生涯学習大学」講座などの受講生向けPR・会員募集活動

2. シニアの開拓と提供

(1) 就業確保の取組み

- ① 事業所・一般家庭に対するセンター事業の広報活動
- ② ホームページ等での情報提供およびチラシやリーフレット等の配布
- ③ 江古田分室の手内職作業確保のため、企業等・事業所等に訪問
- ④ 「シルバー速報」やホームページへ仕事情報を掲載し就業を促進
- ⑤ 「シルバーまつり」の開催、「中野にぎわいフェスタ」等への参加などを通じセンター事業のPRを行う
- ⑥ 区の統計調査の調査員として就業できるよう調査員募集の情報提供
- ⑦ 家庭・子育て事業の推進
- ⑧ 要支援高齢者を対象として昨年度より実施した生活支援に資する訪問

3. 就業相談と各種研修の充実

- (1) 就業相談の充実
- (2) 新規会員の登録と研修の充実
 - ① 入会登録説明会の開催回数増の調整
 - ② 活動事業の実績等を踏まえ、日常生活支援や外出支援などの業務の本格的実施、地域包括ケア推進の一環として、区内の地域包括支援センター等との連絡調整
 - ③ 事業推進コーディネーターと連携し、会員向け研修会や意見交換会等を開催
 - ④ 会員と会員コーディネーターとの信頼関係を高め、顧客のニーズに沿ったきめ細かなサービスの提供
 - ⑤ 会員コーディネーターと会員との情報の共有化を図り、地域の子育てを支援
 - ⑥ 事業を通じて地域団体と連携し、支えあいの「地域力」を醸成
 - ⑦ 職群班活動の充実と人材育成について
 - 担当理事制のもとで、仕事別グループの組織化を推進するとともに、会員同士の技能レベルアップを図り、サービスの質向上をめざす。
 - また、技術の継承と後継者の人材育成が急務であるため、職群班会議を定期的に開催し、講習会等で知識・技能の習得を進め、会員の確保と技能向上に努める。
 - ⑧ 暮らしのサポート隊の充実
 - ① 事業内容のPRに努め、会員の知識や経験を活かした仕事の拡大
 - ② サービス力の向上に向け、技能研修を積極的に行い専門性の向上、また、除草班と連携し夏季及び冬季の就業ニーズに機動的に対応
 - ⑨ シルバー派遣の拡充・推進
 - 平成29年11月末現在、都内43センターが財団事業に参画し派遣事業所の登録・開設・事業を開始。当センターは、平成29年4月より派遣事業を開始。今後は、事業実績を重ね保育補助人材事業での派遣事業展開など受注の開拓を図り、会員のスキル養成などにも取り組む。
 - ⑩ 事務系職種の大拡充
 - 公共施設の管理や事務系職種や職場の開拓に取り組むとともに、派遣事業による経験や実績等を踏まえ、会員就業の拡大につなげる。
 - ⑪ 先進センター事例調査
 - ⑫ 「お客様満足度調査」実施・検証・今後活用
 - 平成29年度に実施した「お客様満足度調査」について、新たな調査対象・内容等を検討の上、継続実施

4. 適正就業への取組み

- ① シルバー事業がサービス業であるとの意識の徹底
- ② 仕事に対する意識改革及び仲間づくり、地域貢献活動への参加を高めるための導入研修を実施
- ③ シルバー派遣にかかる情報提供と研修の実施
 - 従事内容をはじめ、労働安全衛生や就労の際の心構えなど、シルバー派遣に必要の情報提供と研修を計画的に実施
- ④ 接客術向上研修
 - ① 顧客満足度の高いサービスの提供
 - サービス内容を踏まえ実践に即した接遇研修の充実
 - ・ 駐輪場施設管理者等
 - ② 技能向上（レベルアップ）研修
 - ・ 植木班、除草班、表具班、家事・福祉・育児支援サービス就業会員、暮らしのサポート隊等
 - ③ リーダー研修
 - ・ 理事、役員研修等
 - ④ 東京しごと財団、第3ブロック等主催の会員向け研修

5. 安全就業対策等の推進

- 高齢者の就業では、就業の安全が最優先であり、その取組みと実践が重要。センターの傷害事故と損害賠償事故発生件数はわずかに増加しており、事故防止に向けたより有効な対応策を講じる必要がある。そのため、事故ゼロをめざし、安全就業巡回パトロールを拡充するなど、安全管理委員会を中心に、引き続き事故防止対策に徹底的に取り組む。また、日頃の健康管理や就業途上における交通ルールの厳守、シルバー体操（就業前体操）の普及、就業における仕事の段取りや事故防止の方策など、実効性のある安全就業対策に取り組むとともに、事故原因の深堀分析を行い、会員に対し安全就業の徹底を図る。
- (1) 安全就業の徹底
 - ① 新入会員へ安全就業の心得の配布、機関紙を通じ事故防止の啓発
 - ② 安全管理委員会が中心となり、事故原因などを深堀分析

平成30年度 収支予算

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 |
|---------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | |
| 1.経常増減の部 | |
| (1)経常収益 | |
| ①受託事業収益 | 659,915,000 |
| ②自主事業収益 | 19,790,000 |
| ③労働者派遣事業等受託収益 | 1,200,000 |
| ④受取会費 | 3,250,000 |
| ⑤受取補助金等 | 68,380,000 |
| ⑥シルバー保険保険料収益 | 1,308,000 |
| ⑦特定資産運用益 | 1,000 |
| ⑧雑収益 | 101,000 |
| 経常収益計 | 753,945,000 |
| (2)経常費用 | |
| ①事業費 | 739,745,878 |
| 受託事業 | 577,000,000 |
| 自主事業 | 16,936,000 |
| 事業開拓事業 | 45,154,000 |
| 広報事業 | 811,000 |
| 地域活動事業 | 2,821,000 |
| 家庭・子育て事業 | 1,605,000 |
| 労働者派遣事業等受託事業費 | 501,000 |
| 事業管理費 | 94,917,878 |
| ②管理費 | 22,302,122 |
| 経常費用計 | 762,048,000 |
| 当期経常増減額 | △ 8,103,000 |
| 2.経常外増減の部 | |
| (1)経常外収益 | 0 |
| (2)経常外費用 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 8,103,000 |
| 一般正味財産期首残高 | 88,000,000 |
| 一般正味財産期末残高 | 79,897,000 |
| II 指定正味財産増減の部 | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 79,897,000 |

6. 地域班活動の推進

センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員自らが自主的・主体的に組織運営を行い、会員同士が助け合う共働・共助を特徴とする団体。地域社会に理解・評価され、具体的な形で地域社会に貢献することは、センターの発展のために不可欠である。このため、居住単位での地域班によるクリーンキャンペーンや道路清掃、公園等の花壇づくりをはじめ、

- ③ 職群班会議で事故に関する情報を共有し、安全意識の喚起に努める。
 - ④ 単独就業時の事故を防ぐため、複数会員による就業を推進
 - ⑤ 安全就業宣言の趣旨の徹底
- (2) 事故防止対策
- ① 安全保護具（ヘルメットや安全ベルト）の着用の徹底
 - ② 熱中症対策への取り組み強化
 - ③ 機械、器具等の安全点検の実施
 - ④ 安全就業委員による作業現場の巡回指導を拡充
 - ⑤ 就業途上の交通事故対策として、「自転車の正しい乗り方」の実技講習等を開催

地域の町会・自治会との連携による地域貢献等の活動が、地域社会の理解を得る上で効果的であり、地域班の会員一人ひとりが地域活動の意義を理解し、継続的に実践することが重要である。

また、班活動を通しての会員相互の交流を深めることも重要で、独自に「班だより」を定期的に発行したり、特色ある活動を展開する。それらの活動内容等は「シルバーなかの」の紙面を通じて情報提供する。また、シルバーまつりでは、地域班やブロックから活動紹介・展示等を行い、センターに関するPRの一助になっている。今後も、さまざまな班活動により会員同士の連帯感の醸成と、会員相互の交流の促進に努める。

最後に、「IV 公益社団法人として」では、引き続き、社会経済状況の大きな変化を見据えつつ、会員の豊かな経験と知識を活かした、質の高いサービスの提供と自立的な経営を確立し、顧客である区民や会員にも信頼される魅力のある公益社団法人としてさらなる発展をめざしていくとしています。

※事業計画本文については、事務局本部または事務局ホームページにてご覧いただけます。

平成29年度

家事援助就業会員必修研修会

「援助する私たちもミスをする生きもの」「人はミスする生きもの」と認めるところから

ミス・事故防止はスタートする!!

3月23日(金) 29年度家事援助就業会員必修研修会が「より安心・安全な家事援助サービスを目指して」をテーマに開催されました。介護・福祉・子育ての分野でご活躍中のリスクマネジメント及びクレーム専門家の榎本三千雄氏を講師にお迎えして、午前と午後の二部制で実施し、100名近くの会員が参加され、大いに盛り上がった研修会でした。



「理解することと覚えることとは違います。今日はなるほど!と実感して帰ってください」との冒頭の言葉に心の荷がすーっと軽くなりました。心に残ったキーワードを紹介いたします。

「認知症介護の大原則は、虚構と共に生きることにすること」

その人の世界と現実のギャップを感じさせない名演技者になり、答えを出さずにヒントを与えて、心地よい場所をお互いに探す。

「家事援助の大原則は「NO」を言える勇気を持つ」

- ・ 自分自身の体調・能力を知り、無理・我慢はしない。
- ・ 取り乱したり、取り繕ったり、安易な発言や約束をしないで、事実をありのまま告げる。

「クレーム発生は見落とし・間違い・取り違えから」

- ・ 作業の慣れを排除し、仕事の経験・熟練を生かす。
- ・ 責任追及主義を排除し、原因究明主義に徹する。

休憩時間に、シルバー体操(体操指導員・若井武志会員)を組み入れ

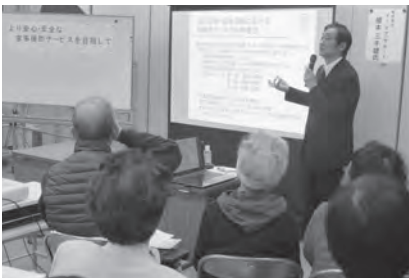
て、頭と心をほぐしたり、家事援助事故発生状況報告書の提示に、「明日は我が身かも?」と背筋に寒さを感じたり。また、講義中にプライバシー保護・法令遵守理解度チェック表記入に、知識の曖昧さを問われたりするなど、眠気を誘う暇もなく研修会が終了しました。「なるほど!」参加してよかった!という嬉しい声が聞けるかな?

「研修会に出席して」

野方班 内海弘子会員
榎本三千雄先生、貴重なお話しことに有難うございました。ややもすると、日頃忘れがちな事柄を再確認することが出来ました。

もう随分前(15年前) となりますが、萩茶碗賠償責任問題を思い出しました。老夫婦宅へ家事援助に入っていたAさんのこと。このご夫婦が毎日大切に楽しみにしていた湯呑みのことです。

萩の茶碗は長い間使っていて、間入と



に変化する(萩の七化)のですが、Aさんは汚れていると思いい親切のつもりでキッチンブリーチ(漂白剤)に浸けてしまい、一瞬のうちに湯呑みを買った白にしてしまったのです。



たかが湯呑茶碗と思われませんが、ご夫婦にすれば、何十年も親しみ、七化けを楽しみにしてきたのです。思い出深い茶碗賠償問題では済まされないと、後味の悪い出来事だっと思ひ出しました。「問題意識が無いと何がおきるか」を深く考えさせられました。

私たちの仕事は、最初「うす紙」をめぐる思いでお互いにコミュニケーションを作り、それが大きな絆となり、相互を理解し励まし合い、笑顔で迎えられる、私たちも元気を貰うことです。

先生のお話をひとつひとつ心にとどめ、事故の無いように、もしもこの時の対応も学べました。自分を大切に、これからも真摯に取り組んで参りたいと強く思いました。大きな大きな学びでした。有難うございました。

平成29年度

駐輪場接遇方向上研修

接遇方向上研修に参加して

昭和班 鹿子木 雅

2月6日にアップグレードから派遣された女性講師のもとで研修を行った。

研修内容は、半世紀以上前に社会人となったときに受けた研修内容と似たものであったが、あれから50年以上経ち、改めて聞くと非常に新鮮でうなずける部分が多かった。

【研修内容】

A..サービス業で働く会員の役割

「お客様の期待」と「私たちの応え」にはいくつかのパターンがあり、それには「なるほど」とうなずくところが多い。得てして、他人様の要望よりこちらの事情が優先される受け答えになつていないか反省する事柄であった。

B..接遇の基本

コミュニケーションの中で、第一印象の影響について大事な要素であると感じた。お客様にまずは好かれることが第一歩である。そのために、身だしなみ・笑顔・挨拶言葉・話を聞く態度・応対用語(クッション言葉)などがポイントであろう。

C..苦情の要因

お客様の話をよく聞いて応対することの大切さ。仕事が見えていて、つい疎かになることは厳に慎むべきである。

D..苦情対応の基本

○苦情対応の手順と方法
まずお詫び↓お客様の言い分を聞く↓お客様の要望・要求の確認↓精一杯の

解決努力を表す(結論は急がず、処理はスピーディーに) ↓嘘はつかない。その場しのぎの言い訳はしない。↓まず、お客様の立場を尊重し、丁寧に誤解を解く↓解決策を明確に提示

○ご要望にお応えできない時の対応

お客様の立場に立って話を聞き、応えられない理由を明確に説明し、もし代案があるならば提案する。

E..演習(一方通行のコミュニケーション)

画用紙を使い、講師の話していることを絵にかく。

「右上から左下に流れ星。流れ星の下に家。家の前に池。池に3羽のアヒル。家の玄関に日の丸の国旗。家の後ろに大きな木。空には2〜3羽の渡り鳥。家の上には三日月。」



講師が話していることをすぐに描くのではなく、全体像をつかんでから描けば上手く描けたのではないか。このように、お客様の話を聞く場

合、まず全体像をつかみ、お客様が文句を言う細かい部分について、全体の内容と照らし合わせて対処していくと、あまりお客様から不平不満は出ないと思われる。

今回の研修で一番反省したことは、会社生活・家庭生活を50年以上生きてくると社会人新人の時代の新鮮さがなくなり、いつの間にか「上から目線」の自分がある。自分では慎んでいるつもりでも、いつの間にかそれが表に出ているのではと自戒する時間であった。



「仲間は合わせ鏡」

東部班 松村 安子



早いもので、駐輪場業務7年になりました。最初は、本日も私自身も大丈夫かな?と思っただけではないでしょうか(今は出来るじゃない!私...)。トラブルもなく現在に至っておりますが、この先は分かりません。7年の

キャリアは、良い意味で常にお客様のことを思い、自然に出てくる笑顔と元気で接客しております。

今回の研修の「栢野^{かやの}先生」はインパクトがありました。うっかり話に巻き込まれてしまい、平常心不足で答えを出してしまいました。まだ管理人としては甘かったですと反省です。

接客は、まず身だしなみをきちつとして(どの仕事も同じです)、笑顔と「デス・マス」言葉の話し方が大切ではないでしょうか。一日利用券一枚には、「笑顔」をつけて「お気をつけて」の言葉を添えています。利用券に沢山の感情が入っていることはお客様には分かりません(残念ですが)。

以前、スポークが壊れたとの理由で区役所に苦情を訴えるお客様を、何とかしてと頼まれたことがあります。恐る恐る、でも真剣に事務的ではなく、お客様の身になって誠意で対応させていただき、理解していただきました。そのお客様はその後、本当の意味でのお客様になっていただきました。

最近、若い方々がイヤホン時代になり、笑顔で頭を下げると気が付いてくれるので、笑顔で頭を下げています。最後になりましたが、ホウレン草(今は高いけど)「報(ホウ)連(絡)・相(タ)談」を忘れないでください。私は現在、中野南駐輪場・落合駐輪場におりますが、仲間はお互いに意見を出して、相談して、少しでも前に進める努力をしています。接客・接遇は、どの仕事でも大切なことです。昔の良いことは沢山ありますが、時間は流れています。今を見て、本気の笑顔で働ける現場にしましょう! 「仲間は合わせ鏡(似た者同士)」ではないでしょうか。

ホームページの就業情報について

就業情報のページはユーザーIDとパスワードが必要となります。



ユーザーID [nakano]

パスワード [7998]

ホームページ URL は

「<http://www.nakano-sjc.or.jp/>」です。

平成29年度 事故発生状況一覧

平成29年度、中野区シルバー人材センターでの事故発生件数は、傷害12件・賠償7件の合計19件となっております。平成28年度は合計18件(傷害10件・賠償8件)でしたので、残念ながら1件増加となってしまいました。

しかし、平成26年度は合計30件(傷害20件・賠償10件)、平成27年度は合計25件(傷害16件・賠償9件)と、都内のシルバー人材センターの中でも特に事故発生件数が多かったことを考えると、徐々に件数は減っており、皆さまの安全意識の高まりが件数減少につながっていると思います。

以下に平成29年度の事故一覧を掲載いたします。会員の皆さまには他人事と思わずに内容をよくお読みいただき、1件1件の事故について自分ならどうすれば防げたか、今後同じような事故を起こさないために自分ならどのように注意するか(事故の未然防止・再発防止)について、ぜひ考えていただきたいと思います。内容の確認だけでなく、ご自身で具体的にその防止対策を考えてみることで、安全意識のさらなる向上につながると思います。

「安全はすべてに優先する」との基本を忘れずに、事故件数の減少に向けなお一層の安全就業へのご協力をお願い致します。

傷害事故

| No | 発生日 | 年齢 | 性別 | 状況 | 事故の種類 |
|----|--------|----|----|--|-------------|
| 1 | 7月13日 | 73 | 男 | 研修の受講中、高さ2～3メートルの木に登り、枝切りを行っていたところ、足元の指し丸太が折れ、落下した。安全ベルトが作用し、1.5メートル辺りのところで、宙づりになった際、足を打撲した。 | 墜落・転落 |
| 2 | 7月20日 | 76 | 女 | お客様宅での家事援助の作業中、フローリングの上に置かれた衣類の上に右足がかかり、滑って、左腿から床に落ち強打。1時間半ほど経過し、救急搬送された。 | 転倒 |
| 3 | 8月11日 | 87 | 男 | 就業現場で除草作業のためホウキを使い雑草を払うように作業していたところ、地面に敷き詰められていた敷石にホウキが当たり、脚と腰に衝撃があった。翌日になり歩行が困難になった。 | 動作の反動、無理な動作 |
| 4 | 8月18日 | 90 | 女 | 室内作業室にあるトイレから移動する際、床につまずき転倒した。 | 転倒 |
| 5 | 9月2日 | 67 | 女 | アパートの階段下の地面の窪みに左足が入ってしまい、バランスを崩して転倒。左足を挫いて、右ひざに軽い擦り傷を負った。 | 転倒 |
| 6 | 9月11日 | 77 | 男 | 早稲田通りを自転車で走行中、交差点で左折する際に青信号であることから横断歩道内に侵入したところ、直進してきた自転車も横断歩道に侵入して来た為、バランスを崩し転倒。 | 交通事故(道路) |
| 7 | 9月15日 | 68 | 女 | 保育園就業中にカラーボックス棚の角に右足小指をぶつけ腫れてしまった。病院を受診したところ骨折していた。 | 激突 |
| 8 | 12月27日 | 78 | 女 | ゴミ袋を両手に持ってゴミ収納庫から出た際に、地面に置いておいた別のゴミ袋を踏んでしまい、足を滑らせて転倒。お尻を地面に突いて左足を捻った。 | 転倒 |
| 9 | 1月5日 | 73 | 男 | 就業のため自転車で現地に向かい、現場で自転車から降りようと左足を地面についたところバランスを崩してそのまま転倒。救急車で搬送された。 | 交通事故(道路) |
| 10 | 1月15日 | 69 | 男 | 作業終了後、歩道を自転車で走行中、歩行者と衝突しそうになったので避けたところ駐車していた自転車にぶつかり転倒し、左胸を強打した。 | 交通事故(道路) |
| 11 | 1月24日 | 69 | 男 | 清掃中に、地面に放置されたホースに躓いてバランスを崩し、凹凸のある壁に手の甲をぶつけた。 | 転倒 |
| 12 | 1月28日 | 69 | 男 | 植木の手入れ作業中、滑って転んだ際に、ハサミに左手薬指が挟まってしまい、ひびが入った。 | はさまれ、巻込まれ |

賠償事故

| No | 発生日 | 年齢 | 性別 | 状況 | 事故の種類 |
|----|--------|----|----|---|-----------------|
| 1 | 4月6日 | 84 | 男 | 植木の手入れ中、散水栓ふたがずれていることに気付かず足をかけてしまい、ふたがずれ落ちた。その際に蛇口の頭部分を押し付けてしまい地面下の塩ビ管を破損した。 | 運搬・搬出中に損壊 |
| 2 | 6月15日 | 77 | 男 | 会員が発注者宅で網戸の張替作業をして、2階の出窓の窓枠に屋内からはめ込もうとしたところ、手を滑らせ網戸フレームが落下し、損傷した。 | 落下させて損壊 |
| 3 | 6月21日 | 68 | 男 | 運動場電動式防球ネットを閉鎖するため、操作盤のボタンを押したところ、支柱上部にある防災ライトにネットが絡まり真ん中部分が破れた。 | 器具・用具を接触させて損壊 |
| 4 | 8月11日 | 78 | 男 | 照明器具のかさを清掃する為脚立を使用して作業していたが、3個目の作業中にバランスを崩して倒れてしまい雪見障子のガラスを割ってしまった。 | 倒したり、ぶつかけたりして損壊 |
| 5 | 12月12日 | 74 | 女 | 家事援助で全自動のトイレの清掃が終わり、便座が自動で降りてきた際に、軽く便座を抑えたとなん便座の付け根部分が破損。 | その他の就業中の損壊 |
| 6 | 1月23日 | 83 | 男 | 前日の降雪により駐輪場場内及び駐車自転車・バイクに相当の積雪があったので除雪作業を行った。駐車バイクに積もった雪を箒等で払い落とすところ車体に用具が当たり傷がついた。 | 器具・用具を接触させて損壊 |
| 7 | 3月2日 | 73 | 女 | 洗面所の鏡を掃除している際、スポンジを使って拭いたところ、汚れが落ちたのですべてスポンジを使って掃除した。掃除終了後、汚れは落ちたが傷がついていることに気が付いた。 | その他の就業中の損壊 |

シルバー派遣の第2弾として 本年4月より区内保育園での保育補助業務を開始しました！！

中野区シルバー人材センターでは、高齢化がますます進行する中で、会員の皆さんに、知識や経験等を生かし請負というこれまでの就労の枠組みに加え、多様な就労機会を提供するため、平成29年度からシルバー派遣事業を開始しました。



今回、その第2弾として、本年4月より区内の認可保育園において、派遣事業として保育補助業務を始めることとなりました。これは、養育経験のある会員の皆さんに、保育人材の不足が指摘されている保育園において、子どもの遊び相手、散歩の付き添い、掃除・洗濯などの保育補助業務にかかわっていただくものです。こうした保育補助業務を通じ、中野区という地域における保育環境の維持・向上の「縁の下の力持ち」役、地域社会への貢献役をお願いしたいと思っています。

保育補助業務に関しては、区内にある34か所の保育園のうち、新たに4か所の保育園でスタートするものです。具体的には、南台3丁目の区立南台保育園（建替え民営化）では、月曜日から土曜日までの早朝、日中及び夕方の3区分で各1名。なお、園舎の建替え中については、弥生町6丁目の区立丸太公園内に仮園舎を整備し、当該施設で保育事業を行うとしています。次に、大和町4丁目の区立大和保育園（民営化）では、月曜日から金曜日までの早朝、夕方の2区分で各1名、さらに、中野2丁目のなかのまるのなか保育園では、月曜日から金曜日までの早朝、夕方の2区分で各1名、最後に、丸山1丁目のピノキオ幼児舎野方保育園では、月曜日から金曜日の午前の1区分で1名の注文がありました。今回の保育補助業務では、早朝や夕方等、それぞれの区分で1名となっていますが、いずれの保育園でも、複数の会員の皆さんがシフトを組み、就労していただく予定です。

ともあれ、4か所の保育園で延べ16名の会員の皆さんにより、新たに保育補助業務が始まりました。

なお、シルバー人材センターでは、これまでも一部の保育園で園舎の清掃や洗濯などに限定し、請負というかたちで保育園業務を担ってきましたが、こうした業務についても、別途、保育補助業務としてシルバー派遣に切替えていただくことを各保育園にお願いしてきました。その結果、本年4月時点で、新規スタートの4園を含め、区内8か所の保育園で30名を超える会員が、子どもの遊び相手、散歩の付き添い、掃除・洗濯などの保育補助業務にかかわっていただいています。

大きな社会問題である「少子・高齢化」の側面として、保育現場における人材不足が問われていますが、区内の保育園において、シルバーの会員が養育経験を生かし見事に保育補助業務をこなしているという構図は、こうした課題の対応、ひいては中野という地域社会における支えあいの構築に向け、見えてきた「処方箋」のひとつとして取り上げることができないのでしょうか。それほど大きな期待と話題が満載の保育補助業務がスタートしたのです。

テニスを楽しむ 40年余り

上鷺宮班 中川 幸夫

私は40の手習いでテニスを始めました。そのきっかけは家内が知った中野区報での初心者向けテニス・スクールの開講案内でした。

家内が独断で夫婦応募。どうも家内は私を運転手に利用しようと考えたらしい。当時はテニス・ブームの走りでしたが、私はゴルフ一辺倒でテニスには全く無関心。テニスはラケットでボールを相手に打ち合う、至って単純なスポーツで、いつでもやれると高をくくっていました。ところが厳選の末の合格報と知り、へ好機逸すべからずと、急変してテニス・スクールに参加。毎週土曜日2時間、合計10回、区の体育館でテニスのイロハを学びました。その後まもなく自宅の町内にテニス・クラブが新設されたので、これ幸いと家内と一緒に即刻会員になりました。

テニスの基本技術が満足に身に付いていないのに、体で覚えるのが上達の近道だと独断して、週末にはゴルフの約束がない限りクラブに通いました。「年は幾つなの？足は大丈夫なの？」と口の悪い仲間の冷やかしを気にも留めず、全身全力でボールを追うように返球した時に味わう爽快さは、まさに格別でした。その間

テニス・エルボーに泣かされ、足の踵の激痛に苦しむこともたびたびでしたが、幸運にも何とか克服してきました。

テニス仲間との四方山話も楽しく、話題も実に豊富でした。ここで得た見聞は現役時代では仕事の励みになり、定年後にかかわった地域活動やシルバー人材センターでの仕事にも良い参考になりました。今ではテニスに全く興味のない家内は「年相応にしたら？」と私のテニス三昧の生活を相変わらず皮肉含みの箴言しんげん。しかし私にとつて、テニス・クラブは現役時代の海外駐在3年を除いての40年間、心を癒す居場所でもありました。それを提供して頂いたテニス・クラブのオーナーには心から感謝しています。私は若い頃から良いと思うと迷わずにすぐやる悪癖があり、そのために失敗例は枚挙に暇がありません。だがいまだに洗練されていない我がテニスですが、そこから得られた楽しさは計り知れません。

大変残念ですが、スポーツも多様化が進みテニス熱は下降気味。私の所属するコート・クラブは当初はコートが8面、会員は最繁栄時には800名でしたが、今はコート2面で会員は20名に激減する、まさに隔世の感があります。私も年々、気力が弱まり、反射神経の低下、体力に限界を自覚しているところに、先日小学4年生の孫娘と散歩の折に「爺はこの頃歩くの遅い

ね」と言われショック倍々。そろそろへさらば我がテニス人生！を決意すべき時が迫ってきたのを実感する昨今です。

おもてなし英語

上鷺宮班 武信 由美子

思い切って「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を受講してきました。

海外旅行の時、一人旅の私に自分の降りる駅ではないのに、駅の出口まで案内してくれた人、重いスーツケースが段差で引つかかり動かなかつたのを助けてくれた若い人など、今まで多くの人に助けられて楽しい旅をしてきました。

今度は、日本に来てくれた方が困っていたら手助けしたいと思ったのです。

語学力は受講条件を辛うじてクリアしている程度でしたから、当日はドキドキ。参加者がペラペラと英語をしゃべっていたらどうしよう。途中で帰ろうかな…と思いつつ席につきました。

内容としては、隣の席の方と外国人役と日本人役になり、地下鉄の乗り方、道案内や神社での手の清め方、参拝の仕方の説明、グループワークではパスポートを失くした人への対応

の仕方など、困っている方をどうサポートしていくかを話し合いました。

お賽銭箱は？ひしゃくは？英語で何と言え
ばよいの？知っているつもりだけでは説明が
できないことがよく分かりました。茶事懐石の
向付や利休箸などの説明は難しかったですし、
大変勉強になりました。ちなみに、神社のお清
めで口を漱ぐのは英語で「リンス」だそうです。

最後に、認定証と「May I help you?」と書かれ
た缶バッジをいただきました。

東京都では、語学ボランティアを2020年
までに5万人育成したいそうです。少しでも関
心のある方は、育成講座を受講してみてください。
元氣なシルバー世代も経験を生かし、おも
てなしをしましょう！

※1 お賽銭箱「offering to the box」

※2 ひしゃく「ladle (レードル)」

お問い合わせ先

東京都主催

「外国人おもてなし語学ボランティア」

育成講座事務局

住所：〒105-0011

東京都港区芝公園 3-5-8

機械振興会館 本館 B109

電話：03-6432-0098

(土・日・祝日を除く10時～17時)

FAX：03-6432-0042

メール：info@omotenashi-volunteer.net

ふりかえれば メダルは金剛石だ

野方班 長谷川 乃布子

冬季五輪と、こんなに仲良くしたのは初めて
で、知らなかったことが多々。少しずつわかっ
て興味深かった。

○何回転？何メートル？

以前に「どうしてあんなことをやるのか。危
ないじゃないか」と言ったH野球解説者の言葉
が浮かんできた。あの時は私も同感だった。

今、テレビの画面いっぱい高い冬空に舞う選
手たち。足がかりのない空中に自分が投げ上げ
られたゾクゾク感に次いで、雪の斜面に叩きつけ
られる不安や圧迫を何度も味わい、決して平気
では見ていられない競技だった。板一枚に乗って、
どえらい離れ技を見せるイマドキの若者たち。

○当たる音、ストーン

20 kgもあるという石を氷上に滑らせて、40 m
さきにあるホームの円心近くに残った石の数
を競う。滑らせる石は、どんな速さでどこを狙
うのか、その微妙さに興味がわいた。当たった
石どうしの動きは、考えてもわからない力学の
世界だ。滑らせる石のスピードと緩い回転を生
む投力の妙。

『あと攻めが有利』の意味はわかってきたけ
れど、イギリス最終の一投が逆転ならず、何と、

日本に確かな銅メダルをもたらしたのだった。
夢のような一瞬に歓喜の声を上げた。

○風とのたたかいに勝つ

三人一列になって猛スピードでリンクを滑
る。その先頭には、相当の風圧がかかるそうで、
スピードを落とさず隊列を整えたまま、身を交
わして先頭交代をした日本チームの見事なパ
シュート。

これは、ノルディック複合の距離で、先頭に
なった選手の言葉が「かかる風圧を交互に受
けるよう、先頭を相手と交代して滑った」だっ
た。※斜面もある長い競技中のことであるのに。

時速50 km以上で車窓を開け放って走る時の
風当たりの強さを思い出すと納得できた。

○スポーツマンシップ

「氷と話したい」と言ってスタート。レースが
終わり、躍動感溢れた選手に、なり止まない称
賛の拍手。最終組のスタートが近づく。静かに
しましょうの身ぶりで観客に訴えた彼女は、
五輪記録更新の金メダルであった。

彼女は、直ぐさま二位の選手のもとに寄りそ
の肩に腕を回して、何をささやいたのだろうか。
同じ競技の同士であり、ライバルでもある二人
は、日韓両国の国旗を掲げてリンクを回った。

心が洗われる思いで、中野から拍手を送り続
けた。続いて行われるパラリンピックでもい
いところを――

平成30年度会費の天引きについて

平成30年度(H30/4/1～H31/3/31)の具体的なスケジュールは下記の通りとなっておりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

| 作業月 | 支払年月日 | 会費の天引き |
|--------------|------------|--|
| 平成30年3月分 配分金 | 平成30年4月16日 | — |
| 4月分 配分金 | 5月16日 | 2,000円 (4・5・6月配分金のうち 最も早い配分金より 天引きされます) |
| 5月分 配分金 | 6月18日 | |
| 6月分 配分金 | 7月17日 | |
| 7月分 配分金 | 8月16日 | — |
| 8月分 配分金 | 9月18日 | — |
| 9月分 配分金 | 10月16日 | — |

※会費は、年1回だけ天引きいたします。ただし、天引きは4・5・6月分配分金に限ります。

4・5・6月分配分金で天引きされず、会費が未納の方に対し、7月下旬に郵便振込用紙をお送りいたしますので、お近くの郵便局よりお支払いをお願いいたします。

※シルバー保険料一部負担の天引きは、毎月、就業された方から100円天引きいたします。

理事会開催状況

〔平成29年度第12回〕平成30年1月25日(木)午前10時より本部にて開催

1 議決事項

(1)平成30年1月入会者の承認について

2 報告事項

- (1)平成29年12月 退会者について
- (2)平成29年12月 事業実施状況報告
- (3)平成30年度 事業計画(素案)について
- (4)区内保育園等における派遣事業による保育補助業務の実施について
- (5)堀江敬老館の高齢者会館機能部分の管理業務受託について
- (6)地域活動委員会における「シルバーまつり」に対する主な意見等について
- (7)平成29年度第3ブロック役員研修について
- (8)月間予定表(平成30年2月分)

3 その他

◇右記の案件について審議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

〔平成29年度第13回〕平成30年2月22日(木)午前9時30分より本部にて開催

1 議決事項

- (1)平成30年2月入会者の承認について
- (2)平成30年度 事業計画(案)の承認について
- (3)平成30年度 収支予算(案)の承認について
- (4)平成30年度 資金調達及び設備投資の見込み(案)の承認について

2 報告事項

- (1)平成30年1月 退会者について
- (2)平成30年1月 事業実施状況報告
- (3)平成30年度 理事会開催予定について
- (4)平成30年度 入会登録説明会の開催予定及び担当理事について
- (5)平成29年度第3ブロック役員研修について
- (6)月間予定表(平成30年3月分)

3 その他

◇右記の案件について審議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

〔平成29年度第14回〕平成30年3月22日(木)午前10時より本部にて開催

1 議決事項

(1)平成30年3月入会者の承認について

2 報告事項

- (1)平成29年度 下半期職務執行報告について
- (2)『準職員就業規則』の新設に伴う『職員就業規則』『職員給与規定』『職員の採用に関する規程』『育児・介護休業等に関する規程』の一部改正について
- (3)『財務規程』の一部改正について
- (4)平成30年2月 退会者について
- (5)平成30年2月 事業実施状況報告
- (6)平成29年度『事業部会』概要報告について
- (7)平成29年度 会員表彰の実施及び会員の推薦について
- (8)お客様満足度調査報告書について
- (9)月間予定表(平成30年4月分)
- (10)平成30年度シルバー派遣事業の取組みについて

3 その他

◇右記の案件について審議・協議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

平成30年度 配分金振込日

| 就業月 | 配分金振込日 |
|-------------|----------------|
| 平成30年 3月就業分 | 平成30年 4月16日(月) |
| 4月就業分 | 5月16日(水) |
| 5月就業分 | 6月18日(月) |
| 6月就業分 | 7月17日(火) |
| 7月就業分 | 8月16日(木) |
| 8月就業分 | 9月18日(火) |
| 9月就業分 | 10月16日(火) |
| 10月就業分 | 11月16日(金) |
| 11月就業分 | 12月17日(月) |
| 12月就業分 | 平成31年 1月16日(水) |
| 平成31年 1月就業分 | 2月18日(月) |
| 2月就業分 | 3月18日(月) |

平成30年3月事業実施状況

| 会員登録人数 (3月31日現在) | | 3月就業人数 | | 就業率 |
|---------------------|--------|--------|------|-------|
| 女性 | 913名 | 女性 | 614名 | 67.3% |
| 男性 | 565名 | 男性 | 364名 | 64.4% |
| 合計 | 1,478名 | 合計 | 978名 | 66.2% |

| 3月受託件数・契約金額 | | |
|-------------|--------|-------------|
| 公共 | 41件 | 23,571,778円 |
| 企業 | 415件 | 15,428,008円 |
| 家庭 | 665件 | 9,525,338円 |
| 自主事業 | 14件 | 2,006,097円 |
| 合計 | 1,135件 | 50,531,221円 |

| 3月入退会者 | | |
|--------|-----|-----|
| | 入会者 | 退会者 |
| 女性 | 4名 | 59名 |
| 男性 | 5名 | 26名 |
| 合計 | 9名 | 85名 |

クリーンキャンペーン(ボランティア活動)の実施について

恒例の“ごみゼロの日”駅頭クリーンキャンペーンを5月30日(水)に実施します。中野区内及び隣接各駅周辺の環境美化啓発活動・清掃活動を行い、環境美化活動を推進しながら、シルバー人材センターの社会貢献活動を区民等にアピールします。

皆さまのご参加ご協力をお願いいたします。

1. 実施日
平成30年5月30日(水)
2. 実施時間
午前7時45分～8時30分
(45分間程度)
3. 実施主体
シルバー人材センター
地域班(全14班)
4. 担当駅
右表のとおり
5. 実施内容
①駅周辺の清掃活動
②駅周辺でのティッシュ配布
6. 参加申込
所属する班の班長に、5月18日(金)までに、お申し出ください。
事務局担当
【斎藤・小林・長谷川】

| 駅名 | 担当地域班 | 地域班長(連絡先) |
|-------------------|-------|--------------------|
| JR 中野駅 | 昭和班 | 望月 武 3388-1833 |
| JR 東中野駅 | 東部班 | 野尻寿彦 3366-8489 |
| 東京メトロ丸ノ内線 中野坂上駅 | 弥生班 | 寺内伸好 3375-5803 |
| 東京メトロ丸ノ内線 新中野駅 | 桃園班 | 高木 宏 3381-7840 |
| 東京メトロ丸ノ内線 中野新橋駅 | 鍋横班 | 後藤義光 3380-1456 |
| 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅 | 南中野班 | 柴田完治 3383-7083 |
| 東京メトロ東西線 落合駅 | 上高田班 | 松井 豊 3389-4188 |
| 都営地下鉄大江戸線 新江古田駅 | 江古田班 | 大塚幸子 090-6657-7618 |
| 西武新宿線 新井薬師前駅 | 新井班 | 山田几平 3389-0032 |
| 西武新宿線 沼袋駅 | 沼袋班 | 秋永 健 3385-1801 |
| 西武新宿線 野方駅 | 野方班 | 伊倉 功 3338-7260 |
| 西武新宿線 都立家政駅 | 大和班 | 勝岡鉦一 3310-3240 |
| 西武新宿線 鷲ノ宮駅 | 鷲宮班 | 石川和弥 3338-5534 |
| 西武池袋線 富士見台駅 | 上鷲宮班 | 三田村宏 3999-0229 |



春4月は、人の世にも芽吹く時が。新しい学校に入る。新しい仕事に就く。節目を迎える身体にやや疲れを感じるシルバー会員にも、挑戦への心が動く。

そんなある時、ふと目に入った15歳の若者の声に後ろめたさを。

「私より知識も経験も豊富な大人たちは、明るい未来の子どもの達のために、大切な教育について、今一度考えてほしい」

人としての心を失いかけている混沌とした社会現象に、一抹の不安を抱き希望の持てる未来を築きたいと願う若者の純真な心は、胸を打つものがある。大人であるシルバー会員のできることは？

就業する中で、子ども・若者・高齢者の立ち位置を理解し合いい、世代間交流の輪を広げていく。そこから得られる元気パワーは、シルバー会員の「働く幸せ」にも繋がっていくのではないのでしょうか？

渡邊昭子

東京マラソン祭り 2013

環境ボランティアに参加して

「港区 芝公園」は明治政府が設立した日本最初の都市公園だそうです。広い緑の多い敷地、増上寺と真っ赤で異様にとんがった東京タワー、キラキラ光った全面ガラス張りの高層ビル、何とも不似合いなものが、しっかりと調和のとれた風景を作り出しています。ここも東京かと思うような芝公園内の一角にある「都立芝公園」が今日の舞台です。

午前9時20分。まずは公園入口の時計台の元に36名の仲間が集合。中野区シルバー人材センターの制服であるオレンジ色のベストを身に付けてスタンバイ。青色・黄色・水色とカラフルなベストを付けたほかのシルバー人材センターのお仲間達が沢山集まっています。



中野区シルバー班は、美化班と誘導班に分かれ作業開始！活動時間は、午前9時50分から午後1時20分。誘導班の私は、公園入口付近に陣取ります。



いつもは森閑とした都民の憩いの場となっている場所が、今日ばかりは静かな公園に不似合いな、長く連なる各ブースの白いテント、舞台の上のキラキラと光る大型画面、大音響の音楽をかき鳴らす音楽隊、ランナーを応援するチアガールズのダンスと、お祭り会場は大賑わいです。

やがて通りの方が騒がしくなって、テレビ中継車が目の前を過ぎ、先頭グループの一団が走って行くとき大きな歓声が。それも一瞬でやがてランナーの大集団…程なくして今度はゴール方面に向かって、まず中継車が。先頭は外国人選手です。帰り道は、一位の選手、二位の選手とゆっくり確認できるのですが、名前や国はわかりません。やがて日比谷通りは上りも下りもランナーで埋め尽くされ、先ずはこれにて一件落着。



園内飲食ブースでは、岩手県の帆立浜焼き、福島県の牛肉の串焼き、ボリュームがあって歯ごたえがあっておいしいこと、おいしいこと。力が湧いてくるのですが、ランナーにはなれず…(笑)、誘導ボランティアのお仕事を精一杯務めさせていただきました。

マラソンの雰囲気を実地で体験するというのはまた一味違った体験でした。この体験こそが“イベントには参加することに意義がある”ということなのでしょうね。